

重春まちづくり 広報

発行／重春まちづくり協議会
〒677-0056 西脇市板波町245
TEL.0795-23-5653 FAX.0795-23-5653

2023
年度版



重春地区のまちづくり

平成20年（2008）1月、「重春地区まちづくり計画」が策定されて15年が経ちました。現在の状況から振り返ると早いもので、西脇市内と地域の風景も随分と変わっています。

では今、「重春地区のまちづくり」をどうするのか？

重春村として生まれ、昭和27年4月「西脇市の誕生」と共に重春地区になりました。

途中から野村地区と重春地区に分かれて現在に至っております。

前出の「地区の基本計画」も、この状況下に基づいて策定されており、社会変化に対応する必要が考えられます。

特に変化したのは、近年代のコロナ問題や社会構造であり、原点に戻って考える必要があると思われまます。

まちづくりの基本となる「市街地の整備」は、ワンチームとしての統一された計画に基づく基本設計に従って分割し、まつりや行事（盆踊りなど）文化的事業を両地区共同で実施すれば文化を共有する事が可能であると考えられます。

以前、兵庫県の事業であった『重春・野村地区交流事業』の拡大的推進であります。

この事業で実施された『複合施設ミライエ』が、今も機能していることが素晴らしい！！

この様に、行政的な事業と文化的な事業を分けて、両地区が協力していく事を望みます。

重春まちづくり協議会 藤原 孝三

重春地区の案内

～ 加古川の「水位観測所」について ～



兵庫県第1の大河「加古川」、その中流域の水位を測定し、送信する施設として「板波水位流量観測所」が東岸の高松町地内に所在している。ここは、加古川の上流部の2つの流域部分（佐治地域・丹波篠山地域）と、その他の中小河川が1つになって流下する加古川本流の中間要所の場所にあたる。

水質に附いても「板波水質自動監視所」がすぐ近くに併設されており、この地点での水質が測定されている。

しかし水質については、採取される東岸部分の流水にのみであり、すぐ上流で合流する「野間川」「杉原川」との均質化がされていないのでは？との疑問に思われる。上流地域の雨後では、川水が「縦縞状」に見える事がある。

加古川の流下水位は、NHK、河川水位情報、で放送される加古川の水位情報、には、市内地点、板波 -0.4 m（マイナス0.4メートル）があり、水が流れているのに、なぜマイナス水位との疑問を覚えた。関係部署に聞いてみると、水位流量観測所の所在地点の標高が基準になっているとのことである。また、防災の関係で考慮される状況も、この地点での水位値がおおいに関係しており「氾濫水位」は5メートルで、避難判断水位は、4.4 mであるとの事である。異常気象の多い近々の状況下、「加古川の流れ」には注意して関心を持ちたいものです。



景観づくり

地域づくりグループ「矢筈山の会」



重春地区のシンボルである「矢筈山」は、標高363mの美しい山容である！

西脇市街地の西方に聳える、緑ゆたかな、独特な山容を提示する、史跡でもある。眺望や風景・健康などを求めて年間を通じて多くの登山者がめざす山体である！！その登山道を整備し、維持管理を続けて下さっているグループが「矢筈山の会」である。その人達は、「山を愛し・山に魅せられた15人のボランティア」の仲間たちである。…日の出前から山に登り、午後にももう一度登られると聞く…

メンバーには、数千回以上の登山記録をもたれている方々がおられる。また 遠方からの登山者も多く、登山道の安全確保と維持管理には、大変な労力が必要である。その為には、「登山道の整備に余念がない」…じつに良く整備されている。グループの方々に…ありがとう！！御苦労様と、言いたい。

○駐車場もあるので、みなさんも一度、登ってみて下さい！！
往復2時間もあれば充分です。素晴らしい景色ですよ。

歳時記 谷町の「祭灯」

重春地区谷町、町の中央部 宮山の山麓に「毘沙門天」をお祀りしているお堂がある。今年のまちづくりカレンダーにも掲載されており、霊験あらたかな毘沙門様であります。仏様の内「毘沙門天」は、武の仏様であり、集落などの北方、守護神であるとされる。谷町では「お正月行事」として『毘沙門天まいり』が行われております、その際、目印として「祭灯」が点灯されている。

毎年、正月2日に準備をして3日の朝6時半に点灯し、お参りに来られた方々に御神酒・護符を差し上げています。



令和5年度の主な事業

「頼政まつり」の催行

新緑の美しい春、「高松山・長明寺」において、第44回のまつりが開催された!! 宮廷武人であった「源三位 頼政公を偲ぶ」恒例の行事である。

最初に墓参が行われ、朝廷から賜った「獅子王の写し太刀」を奉供、続いて弓道の演武・よさこい踊り・詩吟、剣舞の披露など、いろいろな祭事が進行されて、来場の方々には時代絵巻を御覧頂いた。



景観づくりで「コスモス迷路」

学童の通学場所隣の田圃を迷路として「コスモスの種をまき」美しい花の園が出現! 市民の方々や学童に癒しの場所となっていた。また近くの保育園の園児達が楽しい時間を過ごしていた。



「重春まちづくりカレンダー」の作成

重春地区は、自然が豊で!・歴史的にも多くの史跡が存在している地区である。それらを振り返り、地区住民の方々に知って頂く為にカレンダー作りを行った。

まず、地区の良さと問題点を把握する「アンケートを実施」して、検討を行いまして年末に各御家庭に配布致しました。また、アンケートで得られました種々の事柄は、今後のまちづくりに活かしてまいります。

今年度の委員

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| ●和布町／宇仁菅 勸 (副会長) | ●高松町／出井通泰 筒井真也 吉田丈大 |
| ●板波町／廣田 豊 齋藤博史 藤原孝三 (会長) | ●平野町／吉田佳弘 岸本良規 |
| ●和田町／村上典義 松家 修 | ●高田井町／藤原廣幸 (会計監査) 高瀬 徹 |
| ●谷 町／高橋孝二 (会計) 宮崎守弘 | |



今年度は、恒例の「頼政まつり」などと共に「重春まちづくりカレンダー」を作りました。重春地区の各町の「良いところ」を住民の皆様を知って頂きたい事と、各町の問題点などアンケートを行い作成致しました。素晴らしい重春地区を伝えていきたいと考えています。その為に広報紙がこの様になりました。 (会長 藤原 孝三)

